



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 伯東株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7433 URL http://www.hakuto.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 龍三郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 海老原 憲 TEL 03-3225-3412  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	35,657	5.6	750	△32.6	713	△40.1	492	△41.1
2019年3月期第1四半期	33,768	△8.8	1,112	25.4	1,190	11.1	836	△2.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △84百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 1,191百万円 (△15.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	23.97	—
2019年3月期第1四半期	40.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	90,016	53,933	59.9	2,623.97
2019年3月期	87,826	54,635	62.2	2,658.10

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 53,933百万円 2019年3月期 54,635百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	74,000	7.6	1,500	△23.4	1,500	△25.0	1,100	△18.3	53.52
通期	160,000	14.2	4,000	9.8	4,000	11.7	2,800	13.2	136.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	24,137,213株	2019年3月期	24,137,213株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,582,961株	2019年3月期	3,582,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	20,554,252株	2019年3月期1Q	20,870,850株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では株価が上昇地合いとなり景気は概ね底堅く推移いたしました。欧州においても英国のEU離脱問題の顕著な影響はみられず安定的な環境が継続しております。

我が国経済は米中貿易摩擦の影響懸念が払拭されないながらも良好な雇用環境などを背景として内需は安定しており、国内景気は緩やかな拡大が見込まれております。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、米中貿易摩擦の影響はこれまでのところ限定的であるものの、徐々に影響範囲が拡大、深刻化する懸念が強まっております。

このような状況の下、当社グループの電子部品事業においては、タブレットなどの情報通信端末向けや、光通信関連向け、及び車載向け等の半導体デバイスの需要は好調に推移し、電子部品事業全体で前年同四半期より増収となりました。

電子・電気機器事業においては、前年同四半期に旺盛であったスマートフォン関連向けのプリント基板製造用露光装置に対する設備投資の減退及び計画延伸等により販売が伸び悩み、電子・電気機器事業全体で前年同四半期より減収となりました。

工業薬品事業においては、石油・石油化学産業向け重合禁止剤及び活性炭の需要は堅調に推移し、また、化粧品基材の需要増により、前年同四半期より増収となりました。

このような環境下において、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は356億57百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

損益面につきましては、当第1四半期連結累計期間の連結売上総利益は44億16百万円（同7.2%減）となり、連結販売費及び一般管理費として36億65百万円（同0.6%増）を計上した結果、連結営業利益は7億50百万円（同32.6%減）、連結経常利益は7億13百万円（同40.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億92百万円（同41.1%減）となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

#### [電子部品事業]

電子部品分野では、主に中国市場向けのエアコン等の白物家電の在庫調整により、モーター関連半導体デバイスの需要が低調となりましたが、タブレット等の情報通信端末向けの半導体デバイスの販売が復調したことや、新通信規格である5G関連の投資活性が高まり、通信関連電子部品の販売が伸びいたしました。また、車載関連用途製品の需要は底堅く推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は280億43百万円（前年同期比9.6%増）、セグメント利益は2億69百万円（同42.2%減）となりました。

#### [電子・電気機器事業]

電子・電気機器分野では、スマートフォン製造関連向けプリント基板露光装置及びICパッケージ製造関連向けステッパー装置への需要が設備投資計画の延伸等により伸び悩みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は46億92百万円（前年同期比14.7%減）、セグメント利益は2億14百万円（同45.3%減）となりました。

#### [工業薬品事業]

工業薬品分野では、紙・パルプ分野ではデジタル媒体の普及により世界的な抄紙需要は減少傾向にあり、製紙用薬品の販売が伸び悩みましたが、石油化学分野では底堅い消費の情勢を反映し、重合禁止剤、活性炭等の販売が堅調に推移しました。また、化粧品分野においても化粧品基材バイオポリマーの販売は好調を維持いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は29億15百万円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益は2億29百万円（同14.3%減）となりました。

#### [その他の事業]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第1四半期連結累計期間の売上高は1億76百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は7百万円（同22.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債、及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して21億90百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が3億93百万円減少しましたが、現金及び預金が12億7百万円、商品及び製品が6億32百万円増加したためであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して28億91百万円増加いたしました。これは主に長期借入金30億79百万円増加したためであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して7億1百万円減少し、539億33百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が2億68百万円、為替換算調整勘定が3億3百万円減少したためであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは4億41百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは76百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは9億6百万円の収入となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して12億7百万円増加し、当第1四半期末は88億16百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

たな卸資産の増加額8億51百万円等の支出要因がありましたが、仕入債務の増加額15億11百万円、税金等調整前四半期純利益7億13百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは4億41百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には仕入債務の増加等により19億84百万円の収入となっております。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出54百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは76百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には有形固定資産の取得等により、2億24百万円の支出となっております。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入による収入40億円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは9億6百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には、短期借入金の返済による支出(純)等により、22億87百万円の支出となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の実績は、ほぼ想定通りに推移しておりますので、2019年5月8日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に変更が生じた場合には、適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,608	8,816
受取手形及び売掛金	31,151	31,598
電子記録債権	5,981	5,621
商品及び製品	24,820	25,452
仕掛品	32	47
原材料及び貯蔵品	550	621
その他	1,784	2,179
貸倒引当金	△29	△94
流動資産合計	71,901	74,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	980	968
機械及び装置（純額）	2,069	2,009
土地	3,069	3,069
その他（純額）	519	814
有形固定資産合計	6,638	6,862
無形固定資産		
	325	300
投資その他の資産		
投資有価証券	8,446	8,052
繰延税金資産	142	176
その他	401	409
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	8,960	8,609
固定資産合計	15,924	15,772
資産合計	87,826	90,016

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,881	17,305
電子記録債務	2,742	2,569
短期借入金	7,733	6,177
リース債務	19	132
未払法人税等	896	447
賞与引当金	1,024	523
製品保証引当金	7	7
その他	2,346	3,374
流動負債合計	30,650	30,538
固定負債		
長期借入金	589	3,669
リース債務	45	203
繰延税金負債	1,489	1,267
役員退職慰労引当金	14	11
退職給付に係る負債	384	376
その他	16	16
固定負債合計	2,540	5,544
負債合計	33,190	36,082
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,289	7,289
利益剰余金	40,460	40,336
自己株式	△5,876	△5,876
株主資本合計	49,973	49,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,028	3,760
繰延ヘッジ損益	△1	△18
為替換算調整勘定	942	638
退職給付に係る調整累計額	△307	△296
その他の包括利益累計額合計	4,661	4,084
純資産合計	54,635	53,933
負債純資産合計	87,826	90,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	33,768	35,657
売上原価	29,011	31,241
売上総利益	4,756	4,416
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,167	1,161
賞与引当金繰入額	398	385
退職給付費用	122	110
その他	1,954	2,009
販売費及び一般管理費合計	3,644	3,665
営業利益	1,112	750
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	100	108
持分法による投資利益	13	5
その他	28	36
営業外収益合計	145	152
営業外費用		
支払利息	13	11
売上債権売却損	19	26
為替差損	29	145
クレーム処理費	3	—
その他	2	5
営業外費用合計	67	189
経常利益	1,190	713
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
その他	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,191	713
法人税等	355	220
四半期純利益	836	492
親会社株主に帰属する四半期純利益	836	492



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	836	492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	207	△268
繰延ヘッジ損益	29	△16
為替換算調整勘定	100	△303
退職給付に係る調整額	18	11
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	355	△577
四半期包括利益	1,191	△84
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,191	△84

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,191	713
減価償却費	181	197
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△419	△497
受取利息及び受取配当金	△103	△111
支払利息	13	11
持分法による投資損益 (△は益)	△13	△5
固定資産除売却損益 (△は益)	△0	0
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2	△7
売上債権の増減額 (△は増加)	△311	△400
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,535	△851
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,204	1,511
その他	964	550
小計	2,166	1,111
利息及び配当金の受取額	116	123
利息の支払額	△13	△11
法人税等の支払額	△285	△782
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,984	441
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△108	△54
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△2	△12
投資有価証券の取得による支出	△114	—
その他	0	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224	△76
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	14,481	29,000
短期借入金の返済による支出	△16,004	△31,300
リース債務の返済による支出	△3	△33
長期借入れによる収入	—	4,000
長期借入金の返済による支出	△255	△175
自己株式の増減額 (△は増加)	10	—
配当金の支払額	△515	△584
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,287	906
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	△63
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△508	1,207
現金及び現金同等物の期首残高	9,245	7,608
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	371	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,109	8,816

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より一部の海外子会社においてIFRS16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。当該会計基準の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「その他」が272百万円、流動負債の「その他」が113百万円、固定負債の「その他」が163百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	25,585	5,498	2,680	174	33,937
セグメント利益	465	392	267	9	1,135

当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	28,043	4,692	2,915	176	35,828
セグメント利益	269	214	229	7	721

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
報告セグメント計	33,937	35,828
セグメント間取引消去	△169	△170
四半期連結財務諸表の売上高	33,768	35,657

(単位：百万円)

利益	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
報告セグメント計	1,135	721
のれんの償却額	△2	△2
その他の調整額	△19	32
四半期連結財務諸表の営業利益	1,112	750

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。